**学習指導案（５０分版）歴史② 北方領土問題の歴史的事実と問題解決に向けた取組み**

|  |  |
| --- | --- |
| 授業日時 | 令和○年　○月　○日（○曜日）　第○時 |
| 対象学年/クラス/生徒の人数 | 第○学年○組（計○名） |
| 指導者名 | ○○○○ |

|  |  |
| --- | --- |
| 本時のねらい | 日露間の国境の変遷と現在の状況を確認した上で、日本の立場の正当性やソ連軍による北方四島の不法占拠、日本人島民を強制退去させた歴史的事実、戦後における外交交渉、北方領土返還要求運動を理解させ、問題解決に向けてどんな取組みが考えられるのか、自分の言葉で表現できるようにする。 |
| 指導観 | 北方領土問題に興味・関心をもって取り組めるよう、画像やデジタルデータを提示していく。グループワークを通して、歴史的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的な学習となるように留意する。また、生徒同士の協働的な学びを設けることにより、自己の考えや知識を深められるようにする。  導入段階では、日本の領土の中で日本人が自由に訪問（旅行）できない場所があることを伝え、そこがどこなのかを投げかけ、北方領土問題の存在に気づかせる。  展開では、日露間の国境の変遷と現在の状況を通じた日本の立場の正当性やソ連軍が北方四島を不法占拠し、日本人島民を強制退去させた歴史的事実、戦後における外交交渉、北方領土返還要求運動の様々な動きを理解する。その上で、返還要求運動に注目し、北方領土問題の解決に向けてどんな取組みが考えられるのかをまとめる。  まとめでは、学習を振り返り本時の学びを深める。 |
| 生徒観 | 本時の内容に対して、以下の観点について、生徒の実態を具体的に記述する。  ・学習に必要な習熟度  本時の学習を行うに当たり必要とする知識（小学校社会科、中学校社会科（地理的分野）の学習等を通じて身に付けた知識）に対する習熟度  ・学習経験  本時に関連してこれまで取り扱った内容（北方領土問題についての学習経験等）及び取り扱った際の興味・関心の度合い  ・その他、本時の展開に当たり必要な事項  ICTの利用経験  グループワーク等の経験、または意欲や姿勢 |
| 教材観 | 教材は、学校教育現場における北方領土についての学習などの充実を目的として、ICTを活用し、画像やデジタルデータを用いて、生徒が興味・関心、実感をもって北方領土問題の歴史的事実、問題解決に向けた様々な動きを知り、どんな取組みが考えられるのかについて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動となるよう作成している。  本時は、中学校学習指導要領「歴史的分野」の「2内容」の「C近現代の日本と世界」の「（2）現代の日本と世界」等に基づいて設定・開発したものである。  北海道の北東洋上にある北方領土（歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島）は日本固有の領土であるが、現在ロシアに不法占拠されている。  本教材は、北方領土問題の歴史的事実、問題解決に向けた様々な動きを知り、その取組内容を考察させるために適した教材である。 |

本時の指導・授業の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 指導上の留意点  （■学習改善につなげる評価） | 使用教材  ICT活用  使用アプリ・ツール例 |
| 1. 導入   <5分> | * 本時の学習課題（北方領土問題の歴史的事実を知り、問題解決に向けてどんな取組みが行われているのだろうか）をつかむ | * 授業実施用教材　歴史②（以下スライド）を右記に記載のアプリ等で画面に映しながら、日本の領土の中で日本人が自由に訪問（旅行）できない場所があることを伝え、そこがどこなのかを投げかけ、その場所に入るとロシアが容赦なくだ捕する事実を伝え、北方領土問題の存在に気づかせ、本時の課題についての関心をもたせる。 * 態度：北方領土問題の現状に関心をもち、学習課題に対して意欲的に取り組んでいる。 | 授業実施用教材 歴史②（以下スライド）P1～P3    ・Google Jamboard  ・Microsoft Whiteboard  ・ロイロノート  ・ホワイトボードアプリ  ・電子黒板 |
| 1. 展開   <40分> | **『日露間の国境の変遷と現在の状況』**   * 日露間の国境の変遷と現在の状況を確認してみよう | * 日魯通好条約から始まり、樺太千島交換条約、ポーツマス条約、サンフランシスコ平和条約までの国境の変遷と現在の状況を確認し、北方領土は一度も外国の領土になったことがない日本固有の領土であることを理解させる。また、サンフランシスコ平和条約では、日本は千島列島と南樺太を放棄し調印をしたが、千島列島には北方領土が含まれていないこと、ソ連はこの条約に調印していないことも理解させる。 | スライドP4～P8    ・Google Jamboard  ・Microsoft Whiteboard  ・ロイロノート  ・ホワイトボードアプリ  ・電子黒板 |
| **『ソ連軍の侵攻と日本人島民の引き揚げ』**   * 第二次世界大戦後、ソ連軍はどのように北方領土を占拠し、日本人島民は引き揚げさせられたのだろう   **グループワーク** | * グループでソ連軍の侵攻から占拠までの流れを調べ、ワークシートの空欄を埋める。 * ソ連軍の侵攻後、日本人島民はどのような状況に置かれたのか、また、四島からの引き揚げについて日本人島民の歴史の証言のサイトから調べさせ、全体で感想を共有する。   ▼歴史の証言「元島民が語る北方領土」（北方領土問題対策協会WEBサイト）  <https://www.hoppou.go.jp/problem-info/know/tesimony-of-history.html> | スライドP9～P13    ワークシートW1  ・Google Jamboard  ・Microsoft Whiteboard  ・ロイロノート  ・ホワイトボードアプリ  ・電子黒板 |
| **『外交交渉と北方領土返還要求運動』**   * 外交交渉と北方領土返還要求運動 | * 戦後の外交交渉の内容を通じ、両国が平和条約交渉を続けていることや、北方領土返還要求運動が戦後間もなく始まり、全国に広がっていることに触れ、この問題の解決のために様々な動きがあることを理解させる。 | スライドP14～P18  ワークシートW2    ・Google Jamboard  ・Microsoft Whiteboard  ・ロイロノート  ・ホワイトボードアプリ  ・電子黒板 |
| 1. まとめ   <5分> | * 本時の学習を振り返る | * 全体で本時の学習を振り返る。 * 北方領土問題解決に向けてどんな取組みが考えられるかを全体で共有する。 * 知識・技能：学習課題に対し、北方領土問題の歴史的事実、問題解決のための様々な動きを理解している。 | スライドP19～P20  ・Google Jamboard  ・Microsoft Whiteboard  ・ロイロノート  ・ホワイトボードアプリ  ・電子黒板 |